



# 機関リポジトリの将来像

機関リポジトリについて考えよう！  
アーカイブポリシーデータベース連携と  
制限公開からみる将来像

林正治

(国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター)

# 機関リポジトリへの問い

---

機関の研究成果を  
どれだけ公開できていますか？

研究者にとって魅力的な  
サービスとなっていますか？

機関リポジトリを  
活用できていますか？

# 機関リポジトリとは

---

「大学や研究機関などで生産もしくは保有する  
知識、情報、データを  
デジタル情報として公開することで、  
障壁なきアクセスを可能とし、  
その利活用を促し、  
新たな価値を創出する知識基盤」

(国立大学図書館協会オープンアクセス委員会 : 機関リポジトリの再定義について, 2019年8月5日)

# 機関リポジトリ数の推移

2004

学術機関リポジトリ構築ソフトウェア実装実験プロジェクト

2005-2007

第一期

CSI委託事業

2008-2009

第二期

CSI委託事業

2010-2012

第三期

CSI委託事業

2006-2016

デジタルリポジトリ連合  
(DRF)

2013-2016

機関リポジトリ推進委員会

2016-

オープンアクセスリポジトリ推進 (JPCOAR)

2009-2018

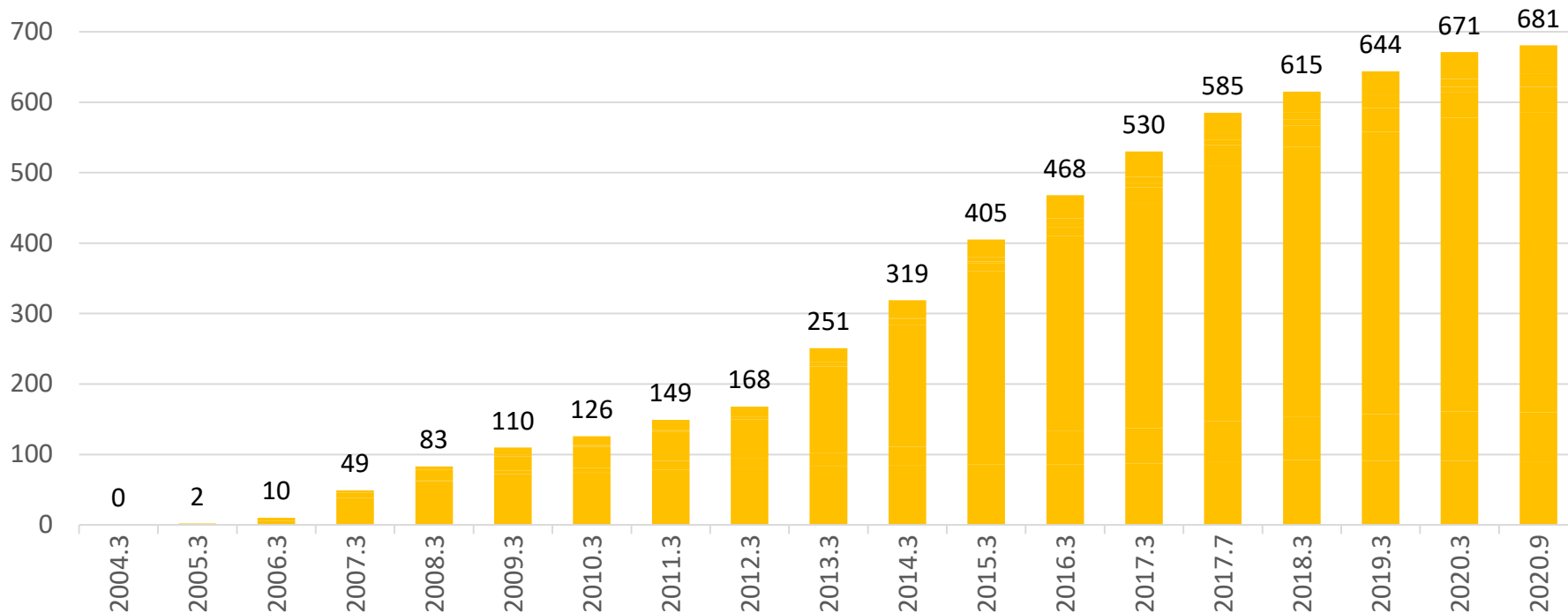
IRDB・JAIRO

2012-

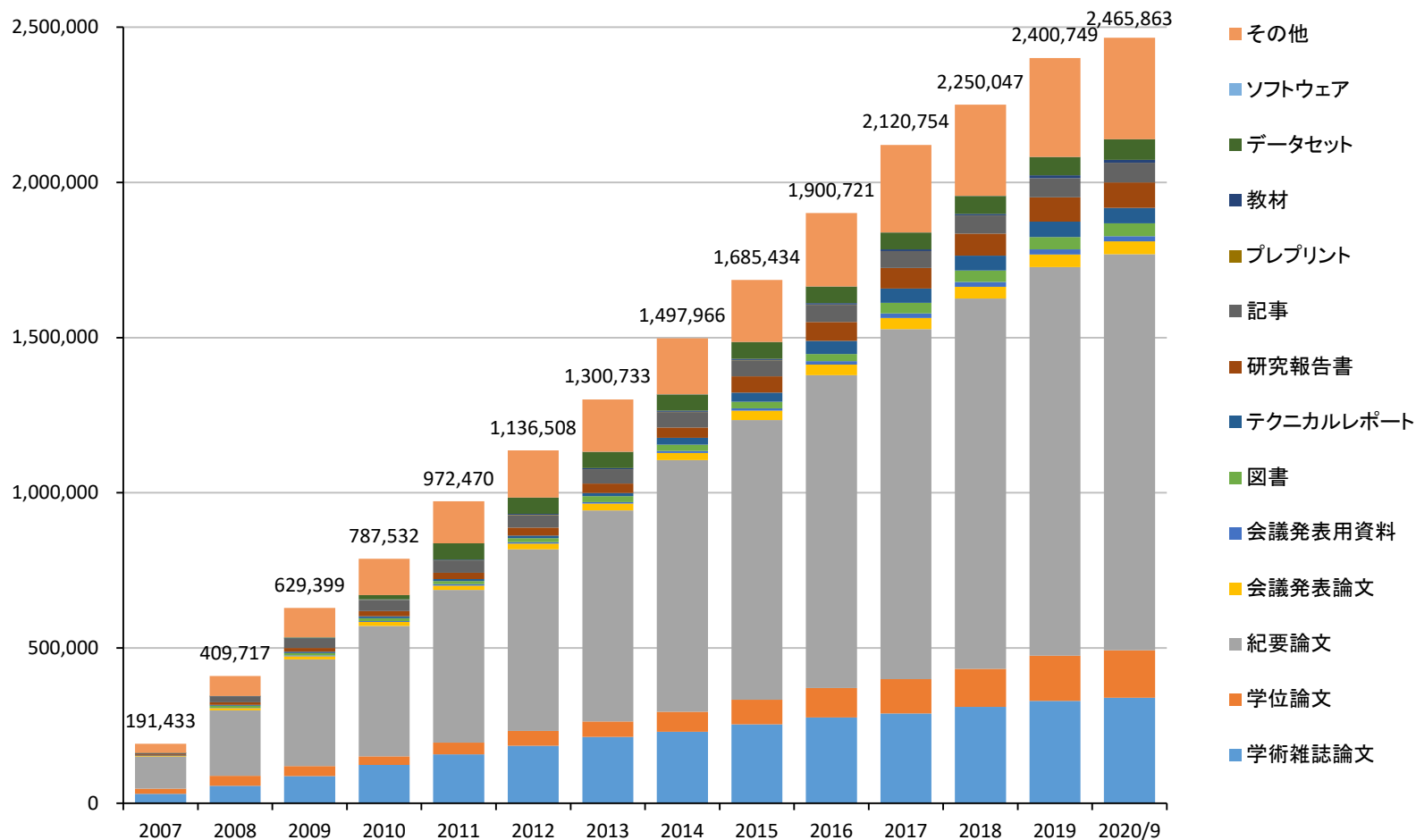
JAIRO Cloud

2019-

新IRDB



# 収録コンテンツ数の推移



# これまでの機関リポジトリ

---

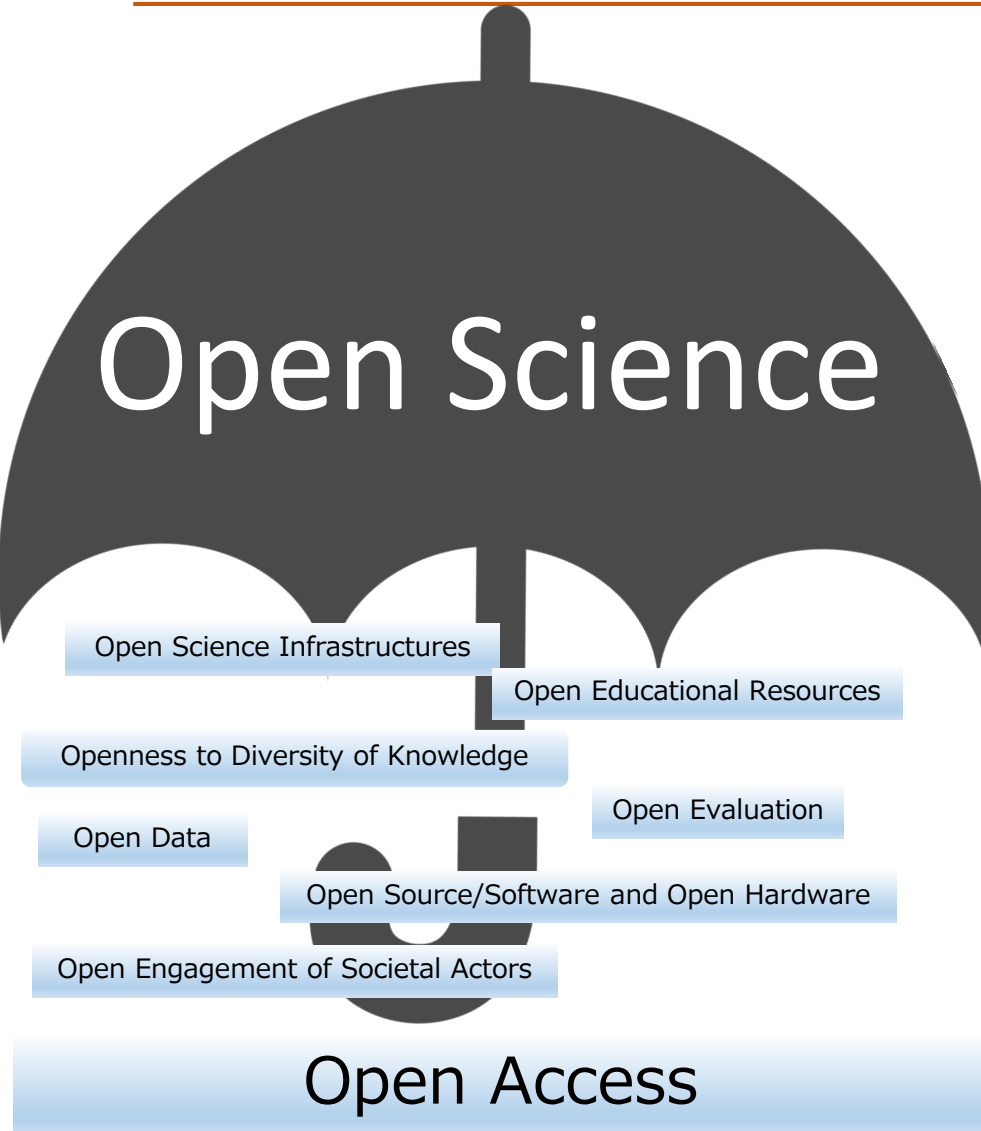
## • 達成できたこと

- 機関リポジトリの普及
  - 機関リポジトリを支えるインフラ（IRDB・JAIRO Cloud）の強化
- コミュニティの拡大
  - JPCOAR
- 収録コンテンツの拡大
  - 紀要論文・博士論文の流通インフラとして普及

## • 課題となっていること

- オープンサイエンスの推進
  - 研究データ対応
- オープンアクセスの推進
  - OAポリシー普及：42件(2020/10/16時点)
- コミュニティ強化
  - 人材育成, ブランド強化

# オープンサイエンス



## 発見の加速：

科学的結論とその根拠への  
アクセスを最大化,  
科学の実践と厳密さを維持・促進

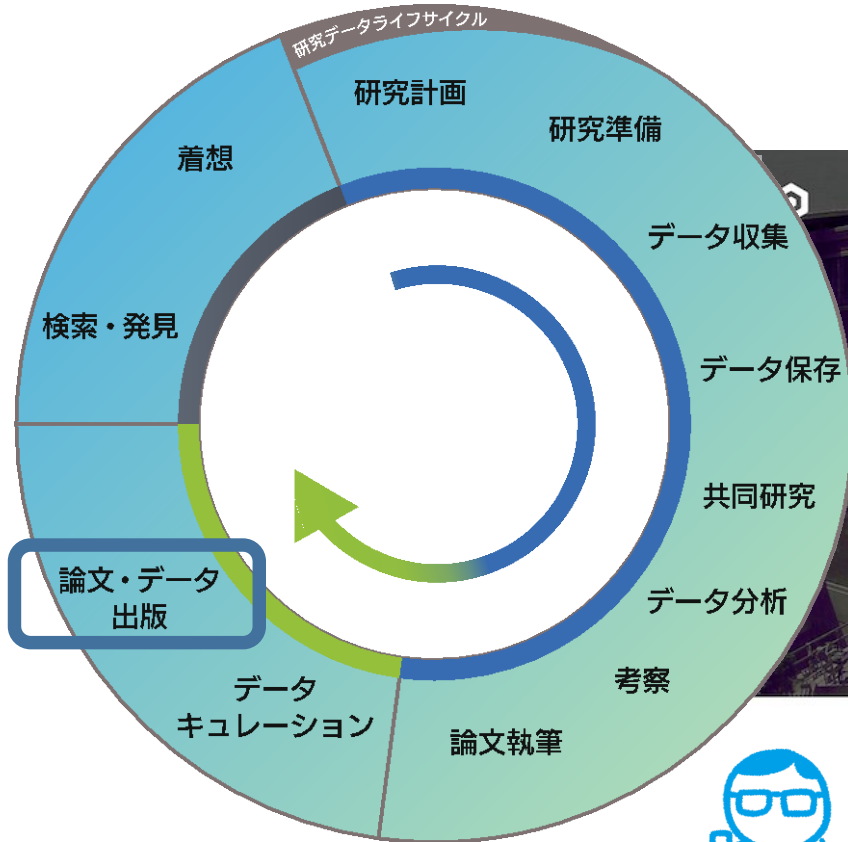
## 共通利益の最大化：

科学的結論とその根拠の  
再利用や組み合わせを最大化

## 社会還元：

科学的プロセスへの関与と参加を最大化,  
社会的影響を増大

# “機関”リポジトリへ



機関リポジトリは  
機関による研究者支援サービス



機関の研究者支援サービスの  
一つとしてどう位置付けるか



Full spectrum support from planning to publication



PLAN

Meet funders' data requirements with our helpful resources and expert advice.



COLLABORATE

Your own file sharing space and update feed make team collaboration easy.



PUBLISH

Publish your data, get a DOI and track your impact. Leave the archiving to us.

<https://purrr.purdue.edu/>



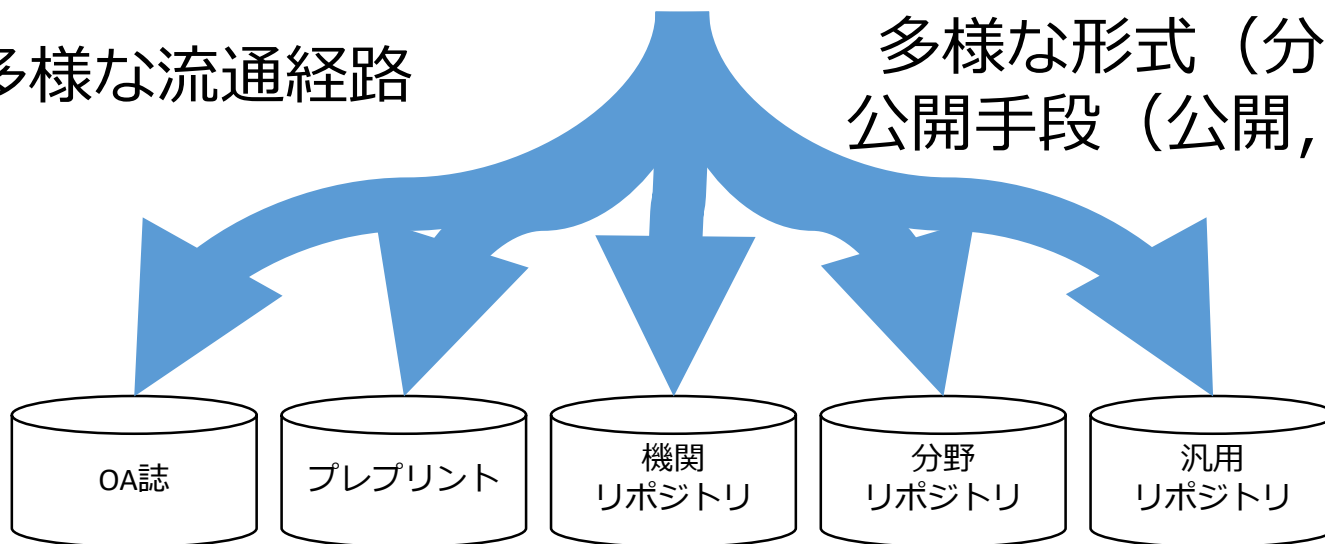
# 大学ならではの難しさ



様々な分野の研究者

多様な流通経路

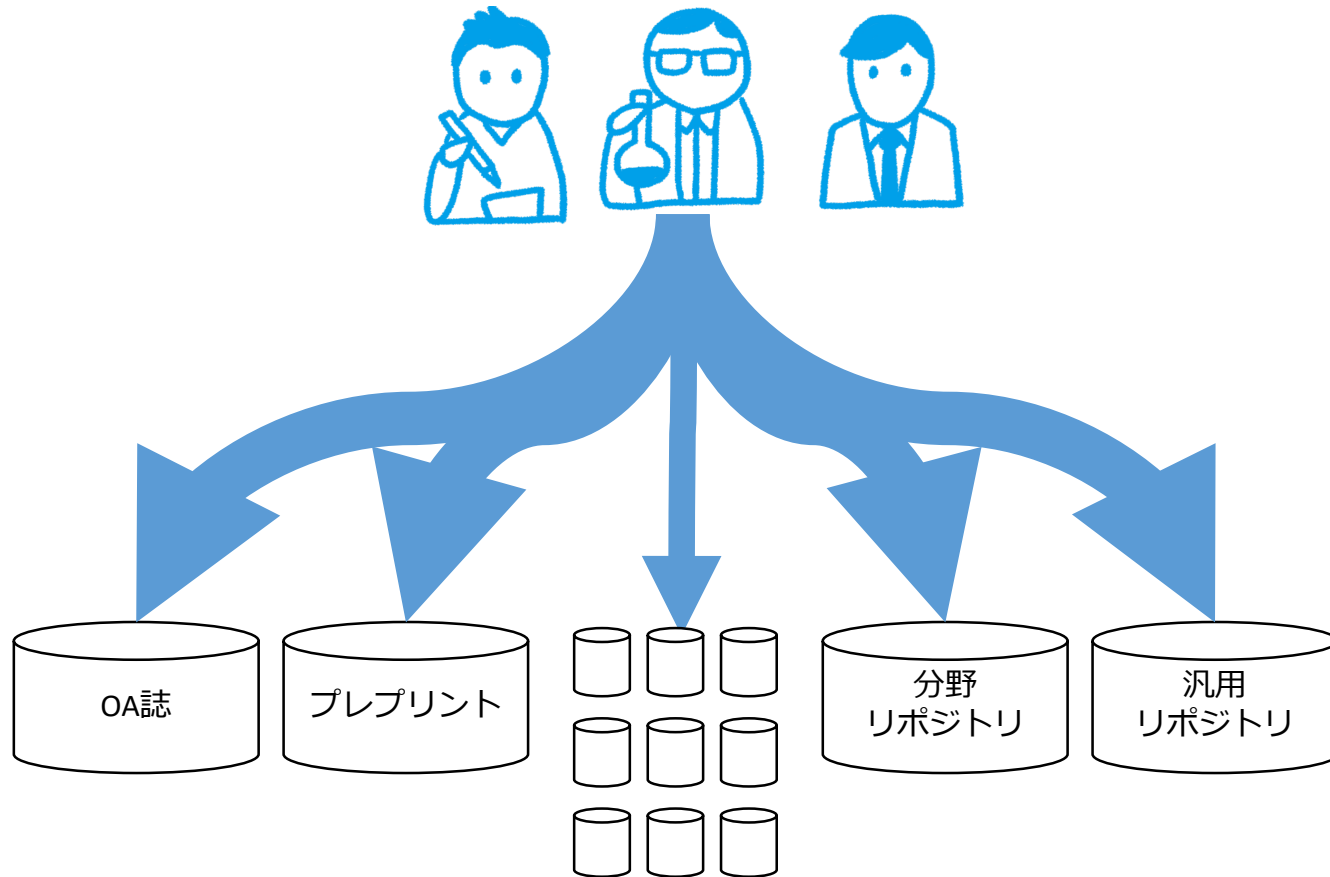
多様な形式（分野，標準）  
公開手段（公開，制限公開）



限られたリソース  
多様性にどう対応？  
公平性も考えないといけない  
機関リポジトリとしてどうサポート？

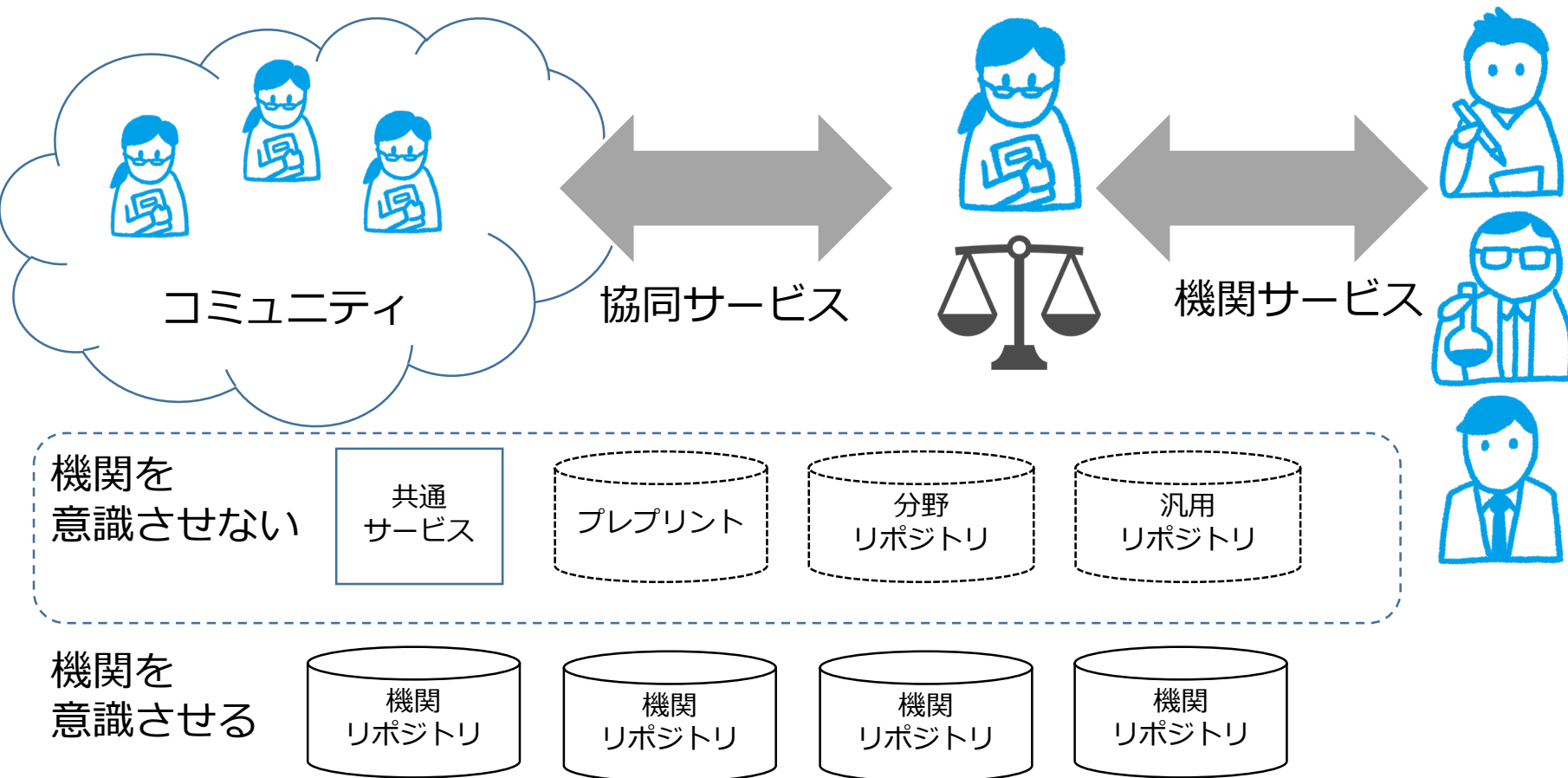
# “機関”リポジトリのジレンマ

研究者は機関リポジトリを意識していない



機関は機関として  
研究者の研究成果を保存・公開したい

# 機関の枠を超えたサービスの実現



機関にとらわれない

機関の枠を超えたサービスも必要ではないだろうか？

# まとめ

---

- **先人の努力により機関リポジトリの環境は整った**
  - 我々はこれを次に繋ぐ必要がある
- **オープンアクセスを更に推進しよう**
  - 「オープンアクセス」はオープンサイエンスの要
- **“機関”リポジトリを目指そう**
  - オープンサイエンスに取り組むには、研究者を中心にしたサービス検討が必要。機関全体で“機関”リポジトリを考えるチャンス
- **オープンサイエンスに向けて  
機関の枠を超えて考えてみよう**
  - 大学には多様性やリソースの問題がある。コミュニティやインフラを利用  
しての相互扶助できることはないだろうか